



期日前投票所は佐屋・佐織を前提とするのか

加藤 敏彦 議員

選挙管理委員会で検討していく

総務部長

期日前投票所は2カ所を前提に、今後検討されるか。

総務部長 選挙管理委員会の中で検討していきたい。

今回の愛西市議会選挙から、佐織庁舎で期日前投票が行えるようになったが、投票者数、期日前投票率、費用はどうか。



▲期日前投票が試行された佐織庁舎

来年は知事選挙、県議選、参議院選挙があるが、期日前投票所についてどのように考えているか。

総務部長 期日前投票の投票者は4991人、佐織庁舎では2138人で、全投票者の13・52%だ。費用は市役所が120万円、佐織庁舎で110万円である。今回は試行として行っ

たが、今後は選挙管理委員会でも検討していききたい。

防災ラジオの整備、国の財政支援は70%

防災ラジオを防災無線の室内受信機として設置する方法があるが費用はどのくらいかかるか。

総務省消防庁が「防災行政無線等の戸別受信機の標準的なモデル等のあるり方に関する検討会報告書」で、住居内の戸別受信機が有効と述べているが、市の認識は。国は「特別交付税措置」

で措置率70%と述べているので市の負担は1億8千万円」でできると思うが。

市民協働部長 放送局設備で約8千万円、防災ラジオ専用システム設備で3千万円程度、防災ラジオ(2万3千世帯)整備で約4億8千万円程度。

戸別受信機は緊急情報を得るために有効な手段である。導入するとなるとそういう金額になる。

その他の質問

●永和保育園の民営化見直しを



▲豊田市で整備された防災ラジオ(戸別受信機)